

科学研究会

顧問	喜多晃久
活動内容	科学研究会では、学科や専門分野を問わず、1年生から本物の研究や、科学を地域に伝える活動に挑戦します。バイオを一つの軸としながら、情報・電子・電気・機械・材料など、さまざまな分野を組み合わせた研究にも取り組みます。初めは基礎的な活動から始め、意欲や興味に応じて、大学・企業との共同研究、学会発表、出前講座や科学イベントなど、さまざまな活動へ参加できます。 【活動例】 ・有用微生物の探索、培養、スクリーニング、DNA 解析 ・バイオと情報・電子技術を組み合わせたセンサー計測やデータ解析 ・大学・企業・研究所と連携した共同研究 ・中学生向け出前実験講座や市民講座で、科学の面白さを伝える活動
主な試合、 発表会	・生物工学会大会、農芸化学会大会（大学生と同じ学会） ・高専シンポジウム ・校内の研究発表会 ・出前実験講座 
活動場所	生物応用化学科棟 3 階の生物化学実験室・卒業研究室など
活動日・ 活動時間	水曜日：放課後～18:00 その他の平日：放課後～17:00 を基本とします。 学業や他の部活動と両立できるよう、研究内容や各自の予定に応じて調整します。
過去の実績	■ 第 31 回高専シンポジウム in 尼崎（2026 年 1 月） ・ MGR ろ材への高付着性を示す排水処理微生物の単離と 16S rRNA 遺伝子による同定 2 年生：生物応用化学科 1 名、環境材料工学科 1 名 ・ Raspberry Pi を用いた微生物コロニーの自動観察・解析システムの開発 1 年生：電子制御工学科 2 名、電気情報工学科 1 名 5 年生：生物応用化学科 1 名 ■ 第 30 回高専シンポジウム in 岡山（2025 年 1 月） ・ 地域にゆかりのある有益な微生物を探しだす 1 年生：生物応用化学科 6 名、環境材料工学科 1 名 4 年生：生物応用化学科 1 名 ■ 出前実験講座 in 鬼北町（2025 年 8 月） ・ 光る大腸菌を作ろう！中学生が遺伝子組み換え実験に挑戦 2 年生：生物応用化学科 8 名 